

WEEKLY

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 フax491-0858

一宮

題字 PG 安野譲次

ロータリー:変化をもたらす

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp

2018年4月26日
第3331回例会

プログラム
イニシエーションスピーチ
中神貴久君
テーマ「自己紹介」
山下啓介君
テーマ「自己紹介」

ロータリーソング 「四つのテスト」
第3330回例会の記録
2018年4月19日(木)

会長挨拶

こんにちは！「春の親睦家族会」天気にも恵まれ。多くの会員家族の方々に出席ありがとうございました。そして、間瀬委員長はじめ皆様のご協力で楽しい一日となりました。大徳寺、通常では拝観できない山門にも全員が上がりました。SODOH 東山では親睦皆さんのが精いっぱいのサービス本当にありがとうございました。来月には「職業奉仕委員会」からダイブ見学会が実施いたします。よろしくお願ひします。

この後、東海東京証券(株)宮澤伸光さん退会挨拶のこと、新年例会オルクドールでは大変お世話になりました。そして、4月15日には、次年度地区研修協議会が開催され榎原年度もスタートいたします。後ほど、クラブアッセンブリーです。よろしくお願ひします。

ロータリーの友4月号

・横組み3頁はライズリーRI会長メッセージです。1990年、当時のパウロ・コスタRI会長エレクトは、環境保全プログラムを立ち上げる事を宣言しました。これは環境問題を奉仕活動に組み込むように呼び掛けたものです。彼の会長年度末までに3,500万本近い数の木を会員の協力により植えました。その後、残念ながらロータリー全体としては環境問題への取り組みを進めて来ませんでした。今年度イアンRI会長は会員1人が1本の植樹をする様に呼びかけました。それは会員が環境問題に関心を新たにしてくれる事を期待しての事です。環境問題は重点分野の全てに深く関係しておりロータリーが黙認する訳にはいかない問題です。地球を守るのは我々ロータリアンにとって非常に重要な仕事であると仰っています。

次回の予定

5/3 休会 憲法記念日
5/10 ローターアクト活動報告



重文 「陵王」面 真清田神社蔵

会長 青山 佳裕 副幹事 山口 元彦
幹事 関戸 徹 副会長 船橋 正員
会長エレクト 榎原 讓 会報委員長 渡邊 肇

・4月は「母子の健康月間」と言うことで横組み7頁～1頁に渡り日本人ロータリアンが世界各地でポリオ撲滅に関わる活動報告が多数掲載されています。数多くの日本人ロータリアンが世界各地で活動をしていることが良く分かりました。

・20頁には2760地区神野ガバナーの「貴方にとってロータリーの重要性は何でしょうか？」から始まる、ロータリーに対する想いが綴られています。

神野ガバナーの想いは、「クラブの親睦・会員の一体感こそが奉仕活動の活性化に繋がる」と仰っています。

・縦組みに移りまして24頁には高浜RCの「AEDの使い方を学ぶ」活動が掲載されております。最近はあちこちにAEDは設置されていると思いますが使い方が分かる人がどれほどいるかは疑問です。使い方を考えなければ設置されている意義が半減すると感じました。

・28頁には名古屋城北RCが豊山町子ども会との研修事業についての記事が掲載されています。地域の子供たちと積極的に関わるクラブも多数ありますね。

委員会報告

出席報告	委員
現在の会員数	石黒敬康
106名	
本日のビジター	0名
本日の出席数	61名
他クラブ出席数	11名
本日の出席率	67.92%
前々回の出席率	97.77%

ニコボックス

☆ 山上哲司君
3月25日、知多カントリー倶楽部月例競技にて生涯3度目のホールインワンを達成した喜びで。西コース6番ホール・165ヤード・使用クラブは6番アイアンでした。

☆ 宮澤伸光君
この度東海東京証券の人事異動により退会させていただきました。1年間という短い期間でしたが、歴史と伝統ある一宮ロータリークラブに在籍させていただき大変感謝しております。

誠にありがとうございました。
☆ 間瀬道男君
春の親睦家族会に73名の皆さんご参加頂きありがとうございました。

楽しく無事戻ってくる事ができました。皆様のご協力に感謝します。

☆ 榎原 譲君
久しぶりに出席した第3回IRG会で紅組優勝させて頂きました。7オーバーというNETでしたがハンディーに恵まれ、また雨にも降られず楽しくプレーが出来ました。同伴メンバーと幹事様に感謝。

☆ 村手 誠君

一昨日は一宮ロータリークラブゴルフ同好会第3回ゴルフコンペにご参加頂きありがとうございました。心配した雨もなく無事終わりました。次回は6月12日に開催致します。多数のご参加をお待ちしております。

☆ 青山佳裕君 関戸 徹君

4月12日、京都に皆さんと一緒に行きました春の親睦家族会が天気も良く大成功に終わった喜びで！！

***** プログラム *****

クラブアッセンブリー

地区研修・協議会報告



第1分科会第1部 第2分科会第2部

榎原 譲

村井ガバナーエレクトより国際ロータリーのテーマ「インスピレーションになろう」の説明・地区方針「あなたの街でロータリーを！あなたの街からロータリーを！」の思いを熱く述べられ、その後、講師水野功様の講話・ロータリーを楽しみ、会員基盤を強化しましょう！と題して聞かせていただきました。例会100%出席・役職は断らない（1年で終わるんだから）等々すばらしい講話でした。第2分科会では、地区より危機管理・増強・ワールドフェスティバル等の説明を聞きました。最後まで残って熱心に聞く会員も多数あり、全体的にすばらしい地区研修・協議会でした。

第3分科会第1部

川松久芳

公共イメージ向上委員会では、ロータリー活動の一般周知発表を目的に、各クラブ事業を地区HPに掲載し、これを素材にマスコミへ積極的に情報提供する方針。5月下旬に委員会から送られる調査書に各クラブの公益事業を記載するよう協力要請がありました。また会員向けWebサイト・MyROTARYについて、一宮ロータリークラブは地区の中でも登録率が低く、同サイトではクラブHPのトップページ用の画像と音楽などロータリー情報が得られるので、登録推進を利用を促されました。

第3分科会 社会奉仕・環境保全部門

鈴木洋志

第2760地区社会奉仕委員会では、次年度村井ガバナーの方針として、皆さんの各クラブの足元での奉仕活動を行うことによって、ロータリーの社会奉仕の種を今まで欲しいということでした。特にRCC活動の推進をいろんな事例から紹介されました。RCCとはロータリー社会奉仕共同隊と言われ、RCがスポンサーとなり、地元の人たちを巻き込んで一緒に活動を行う。

第4分科会第1部 米山記念奨学会

梅谷朋志

第4分科会は米山記念奨学事業全体についての話でした。まず寄付に関してですが、各地区への奨学生配分の算出要素に特別寄付者割合が加わりました。当地区は全国平均を大きく下回っており、少額でも結構ですので何卒ご協力お願いいたします。その後選考方法、委員会の一年間の活動、そして世話クラブの役割的重要性については例年と大きな違いはなく行われることでした。

第4分科会第2部 グローバル補助金の活用

佐々木久直

半田南ロータリークラブの鈴木宏司リーダーから、第2760地区的過去数年の補助金事業の説明がありました。近年開催されています、「ふれあいワールドフェスティバル」の事業余剰金を使用し、カンボジアへの水道管修理事業、ミャンマーへの水洗い場新設事業、フィリピンのマニラ近くのケソン市の小学校への浄水器の新設事業、及び数年後に実の生る樹を植える植樹事業。

本年はネパール地震時にシェルターを寄贈して以来親交が深いネパールへの①地域医療のインフラ整備の為に医療器具などを寄贈する事業、②遠方の村などに医師を派遣する事業、③保健師の質・向上を目指す教育事業。を5月中旬より遂行予定。

名古屋南ロータリークラブの木村 樹生アシスタントリーダーによる「グローバル補助金の説明」が有りました。

第5分科会第1部・第2部 青少年奉仕

杉山義幸

第1部として青少年奉仕・インタークト・ロータークト委員会の活動方針が発表されました。まず青少年奉仕岡田委員長よりこの第5分科会の他委員会の活動に協調し統合力

を高め尽力していくという話がありました。次にインタークト杉本委員長より4つの重点項目が示され、インタークトクラブ提唱の意義、ロータリークラブの役割が説明されました。最後にロータークト村田委員長より2019~20年度に全国ロータークト研修会が当地区で開催される事、ロータークト提唱の意義が説明され、次代を担う若者を育てるという重要なミッションを今一度多くのロータリアンに認識して頂ける様活動を推進していくとのお話をありました。

第2部として、RYLA・青少年交換委員会の活動方針が発表されました。RYLA金山委員長よりRYLAセミナーの歴史が説明され「Top of Leader」(リーダーの原点)常に一人ではなく団体で、自分達が生きている環境の疑問点・問題点を探求し解決方法を見つけて声を出して解決のための行動を起こしていくことがRYLAの基本であるとのお話をありました。次に青少年交換岩月委員長より今迄の青少年交換事業の実績そしてこのプログラムに参加した学生が国際感覚を身に着け国際相互理解と世界平和の推進を図ること、また留学生が日本と外国との間に「友情の架け橋」を築くことで「国際親善大使」として活躍してもらうことが目的であるとのお話をありました。

第6分科会 ロータリー財団

吉山佐人規

ロータリー財団は皆様からのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています。どのように活用されているか?発展途上国にきれいな水をもたらし、平和活動に携わる人材を育成するなど世界中で持続可能な影響をもたらしています。ボリオ撲滅においても予防接種活動を通じて発症数を世界で99.9%減少させてきました。皆様からのご寄付はこうした活動にたいせつに活用されています。2018-2019年度では以下の目標をもって活動します。

- ① ボリオプラス基金 一人当たり30ドル
- ② 年次基金 一人当たり150ドル
- ③ 恒久基金 各クラブ1名以上
- ④ RCカード クラブカードの普及(ダイナーズ)
- ⑤ メジャードナー 地区5名以上を目標とします。

又補助金事業の申請につきましては本年度より変更している内容もあります。事前に確認の上申請をお願いします。

第7分科会第1部 会員増強

滝 善藏

沢田地区委員長より会員増強のポイントは若い会員と女性会員の獲得であり、まずは行動して欲しいとの呼びかけがありました。現状2760地区の会員数が4,900名ほどなので、何とか5,000人にしていきたいのがガバナーの要望であり、ロータリー賞を担って増強して欲しいとの事でした。その後、会員数別のチームに分かれてそれぞれのクラブの現状や問題を討論いたしました。一宮ロータリークラブは一番大きな会員数のチームでした。大きなクラブほど女性会員は少ないのが実感でした。

第7分科会 職業奉仕

坂井田敏行

職業奉仕の研修として、太田達夫アシスタントリーダーの卓話から始まり、職業奉仕は会員が元気でなければよい活動が出来ないと言われ、100円で仕入れたものを100円で売るのではなく100円以上に価値を感じる様にさせることが大切と説かれていました。

所見では次期西名古屋分区・渡辺一平ガバナー補佐が「四つのテスト」について話され、本来の英語の意味と日本語に訳された違いをご指導いただきました。

第2分科会

梯 國彦

「会員の親睦を図るためのクラブ奉仕」について研修が行なわれ、次期地区研修委員会・平松清美委員より各地のロータリークラブの親睦があり旅行や食事会だけではない親睦の有り方について勉強しました。

クラブ奉仕について次期研修委員会・早川和男委員長より研修があり、特に新入会員に対する配慮をするため各委員会配属後放置状態になっているので、クラブ内での居場所を見つけてあげるような指導が有り閉会しました。

第1分科会では「ロータリーを楽しむ、会員基盤を強化しましょう」で第2750地区水野功バストガバナーより研修があり、会員増強に力を入れ女性会員の少ない現状の中少なくとも女性比率を5年以内に15%にする目標が発表されました。研修を受けて一宮ロータリークラブの会員の質の高さとさが歴史と伝統のあるクラブである事を確認できた一日でした。

例会変更案内(12:00~12:30 受付)

クラブ名	例会日	例会場	受付
尾 西	5月 7日(月)	尾西信用金庫本店	有
一宮 中央	5月 9日(水)	一宮商工会議所ビル (17:30~18:00)	有
一 宮 北	5月18日(金)	一宮商工会議所ビル	有